ファイアマンがんばる

新潟地震から20年　消防力も強化

火の中、水の中

昭和三十九年六月十六日午後一時二分、震度五の強震が新潟市を襲った。同時に市内七カ所で火災が発生、そのうち三カ所は消火、四カ所から黒煙が上がった。巨大なキノコ雲になって天を覆った昭石新潟製油所の火災は、鎮火まで二週間もかかった。この間、消防士たちは、水につかりながら不眠不休で消火にあたった。この消防士魂は、二十年後の現在も健在である。

燃え盛る原油タンクに挑む消防士たち（新潟地震当時の昭石構内で）

「昔の消防無線は性能が悪く、新潟地震の時は役に立たず、橋や道路が破損したため、消防本部から四時間歩いて昭石まで伝令に行きました」と曾川正男通信指令室長は、二十年前を回想する。

不眠不休で消火

小松昭二消防局次長も、当時の様子をこう語っている。

「最初の四、五日は、家に帰らず不眠不休で消火活動に当たりました。昭石の火災を臨港町の民家へ延焼させないよう、胸まで水に漬かりながら必死にがんばりました。水素ガスタンク爆発の危険があるので退避せよと命じられ、延焼防止作戦が中止になったのが残念でした。東京消防庁から応援の化学消防隊に中継送水したりもしました」

訓練も重要な仕事

新潟地震から二十年経過した今月十五日、西消防署本署分隊は、浦山二の十階建てマンション「サンシャイン青山」に出動した。市総合防災訓練の一環で、「地震により高層マンションから出火、逃げ遅れた住民がいる」—の想定で、救助と放水を行った。

若杉秀松同分隊係長に、現代の消防について聞いてみた。

「昔と違うのは煙と高層ビルです。空気呼吸器を使う機会が多くなりましたし、火元の下の階の水浸しによる被害に気を使いますね。私たちの仕事は、消火作業だけが仕事と思われがちですが、むしろ日常の訓練や消防車両の点検、火災予防の啓発の方が大切です。風呂の空だき、天ぷら鍋の過熱など、ちょっとした不注意で火災は発生します。一人一人の心がけで火災は防げます」

大島弘同分隊副隊長は「かわらが落ちてきたり、くぎを踏み抜いたりは日常茶飯事。夏は防火服が汗で蒸れるし、冬は消火後の寒さがこたえます。思ったより早く消火できたときはうれしいですね」、小泉信行同分隊機関員も「消防車を運転していて、なかなか道を譲ってもらえなかったり路上駐車で通れなかったりして困ったことがあります」と体験を語ってくれた。

無線も性能アップ

小松局次長は「市民の安全を守る消防士魂は、今も昔も変わりありません。しかし、消防力の充実は著しいものがあります。地震時は無線が使えなくて苦労しましたが、現在は、性能も向上し、使用電波も増やしたため、災害時の情報収集に威力を発揮するものと思います。ただ、災害時には、火の始末をしてから避難するよう協力をお願いします」とこの二十年間を振り返った。

20年間の消防力の比較

	昭和39年	昭和59年
消防署・出張所数	2署9出張所	2署18出張所
消防職員	233人	473人
ポンプ車	15台	25台
はしご車	2台	4台
化学消防車	—	3台
コンビナート火災用3点セット（大型化学消防車・大型高所放水車・泡原液搬送車）	—	1セット
消防艇	—	1隻
救急車	2台	8台
消防用無線電話	18基	64基
危険物施設	1,436施設	3,580施設
人口（4月末）	347,180人	462,209人
世帯数（4月末）	82,704世帯	149,855世帯

みる　つくる　語る　美術館なんだかんだ……②

こんにちは準備室です　その2

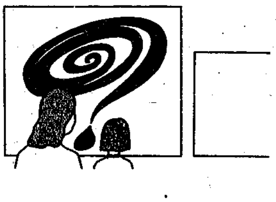
「みる」ことの意義

心の糧（かて）という言葉があります。このことは、美しいもの（芸術作品）を鑑賞することによって精神的な栄養分とし、豊かな感性を培い、円満な人格を形成するという意味かと思います。美術鑑賞—つまり、すぐれた絵画や彫刻などを「みる」ことは"美"を「たべる」ことだといえないでしょうか。

美術作品の表現は多様多彩で、その栄養分も千差万別ですが、ともすれば私たちは美術を鑑賞するとき、食わずぎらいや偏食になりがちですから、なるべく、そのような美的栄養失調にならぬように、いろいろな美術作品を「みる」機会をつくっていきたいものです。

現代絵画を例にとってみても、人物や風景、静物などすぐそれと見分けのつく絵もあれば、何を描いてあるやらさっぱり理解できない絵もあって、まごつく場合が少なくありません。だからといって敬遠したり、食わずぎらいや偏食をおし通していると、現代美術をみる見方はますます偏ったものになるでしょう。

そこで、美術館では美の栄養分をまんべんなく、バランスよく摂取していただく機会をつくるように努めたいと思います。しかし、いきなり難解な現代美術の新傾向を「みる」のでは、消化不良をおこしかねません。そこで、企画展や収集作品の公開展示を通じて、



食わずぎらいのないように……

まず、美術の基礎編、入門編を市民の皆さんとご一緒に学習しながら、一歩一歩「みる」対象の難易度を高めていきたいと考えております。

今は、私たちに親しみやすい、あの印象派の絵も、百年前に登場したときは多くの市民のひんしゅくを買った、最も分かりにくい現代美術だったことを思い起こすでしょう。現代美術はやがて私たちの子孫の時代には古典となるものだ、ということを考えてみたいと思います。

（美術館開設準備室）

アメシロ防除

公園・街路樹　薬剤散布にご注意！

市内の公園、街路樹——など公共施設のアメシロ防除は、六月下旬～七月上旬と八月下旬～九月上旬に、対策室（☎86—〇七五九）が状況に応じて薬剤散布を実施します。

使用する薬剤は、ディプテレックス乳剤を、水で千倍程度にうすめたもので、散布のときは霧状になります。

毒性の低い薬剤ですが、散布対象となる街路樹などに近接した人や、散布区域を通行する人は、薬剤散布機が近づいてきたら、次のことに注意して下さい。

①洗濯物、飲食物や小鳥などは家の中にとり込む。
②窓や戸を締めて薬剤が家の中に入らないようにする。
③養魚池は、覆いをして薬剤が入らないようにする。
④隣近所で声をかけ合い、散布機が近づいたことを知らせ合う。
⑤散布中に、その区域に立ち入らない。
⑥散布後三十分位は、樹木から、薬剤のしずくが落ちますので、樹木の下に立ち入らない。

もし、薬剤が皮膚についた場合、石けんで洗って下さい。

次の街路樹は早朝(5~7時)に薬剤散布します

西堀通（ヤナギ）　東港線（万代橋東詰め～昭和大橋東詰め、ヤナギ）　花園町～弁天町（ヤナギ）　鳥屋野潟周囲（サクラ）　駅南線（ケヤキ）　他門川跡（ケヤキ）　早川堀（イヌエンジュ）

これ以外の市道の街路樹、公園の樹木——などのアメシロ防除は、日昼（午前九時～午後四時半）に実施します。

西海岸保安林内のニセアカシア林は、午前四時～正午まで行います。

第64回市民健康教室

「消化器外科の手術」

日時　6月27日午後1時半～3時
会場　中央公民館401号室
講師　堤　敬一郎（堤外科医院）
申し込み　6月27日正午までに電話で保健衛生課（内線584）へ　—先着50人—

福祉にいがたふれあい運動

「老人事故防止キャンペーン」標語募集

テーマ　老人の自殺、焼死、交通事故防止のために心のふれあいを尊重する"明るい家庭づくり""敬老思想の徹底"にふさわしいもの
応募点数　1人3点以内（未発表のもの）
応募先　6月30日（当日消印有効）までに、はがきに標語と住所、氏名、職業（学校・学年）、年齢、電話番号を明記し県社会福祉課（〒951 学校町通1—602、☎23—5511）へ
（最優秀賞入賞者は8月24日から開かれる「ふれあいにいがた展'84」（市体育館会場）で表彰されます。）

山の下閘門の通航止め

県営山の下閘門排水機場の施設点検・修繕のため、下記の期間が通航できません。
通航止め期間　7月20日～8月3日
問い合わせ　新潟土木事務所機場管理課（☎73—8446）へ

保健婦による健康相談

老人保健法「健康手帳」をお持ちの人は持参下さい。
※鳥屋野地区は栄養士の相談もあり、濁川地区の午後は医師による相談もあります。

地区	月日	会場	時間
鳥屋野	6・18	（医師による相談）鳥屋野地区保健センター	午後1時半～3時
木戸	6・19	木戸公民館	午前10時～正午　午後1時～3時
濁川	6・20	濁川連絡所	〃
南浜	6・21	太郎代公民館	午後1時半～3時
大江山	6・22	大江山農村環境改善センター	午前10時～正午　午後1時～3時
坂井輪	6・22	小新公民館	午後1時～3時

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
6・18	午前10時～午後4時	山下ビル駐車場（古町5）
6・19	午前9時～11時半	旭カーボン㈱（職島町）
6・19	午後1時～3時半	福田組モータープール（船江町）
6・20	午前9時～午後4時	新潟鉄工所㈱大形工場（岡山）
6・21	午前8時40分～11時	㈱ナカムラ（米山4）
6・21	午後零時半～午後4時	キューピット栗山店前（栗山4）
6・22	午前9時～正午	新潟キセキ販売㈱（長潟）
6・22	午後1時～4時	国道工事事務所（南笹口2）
6・23	午前9時半～午後3時	新潟駅前（万代口）

※午前・午後実施のときは、正午から午後1時まで受け付け休みます。

いきいき健康うす味料理講習会

持参品　みそ汁の塩分テストを希望する人は汁のみ100cc、エプロン、三角きん、調理材料費100円

月日	会場	時間	問い合わせ先
6・20	坂井輪地区公民館	午前10時～午後零時半	西保健所
6・21	北地区公民館	〃	東保健所
6・25	南部公民館	午後1時～3時半	西保健所

婦人の貧血予防講習会

日時　6月19日午前10時～午後零時半
会場　北部総合コミュニティセンター
内容　医師の話"貧血"、貧血予防食調理実習（全員）、試食、個別相談
持参品　エプロン、三角きん、ご飯またはパン、貧血検査結果通知書
問い合わせ　西保健所へ

婦人の健康づくり　—貧血予防講習会—

あなたは、貧血の恐ろしさを知っていますか！

日時　6月22日午後1時～3時半
会場　鐘木会館（曽野木団地内）
内容　リズム体操、食事の注意点ほか
問い合わせ　東保健所へ

離乳食講習会

対象　生後4ヵ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん、または保育者
持参品　母子健康手帳

月日	会場	時間	申し込み
6・20	東保健所	午後1時～3時半	直接会場へ
6・22	西地区保健センター	午後1時15分～3時半	直接会場へ

育児相談

持参品　母子健康手帳

地区	月日	会場	時間
内野、赤塚、中野小屋	6・21	西地区保健センター	午後1時～3時
坂井輪	6・21	（小児科医の相談もあり）坂井輪 〃	午後1時～2時半

むし歯予防教室

対象　6ヵ月～1歳未満児　30人
持参品　母子健康手帳、子供用歯ぶらし

日時	会場	内容	申し込み
6月29日 午後1時半～	北地区保健センター	歯科医による検診 歯みがき指導	電話で会場へ

成人病食事相談

日時　6月21日午前9時～11時
会場　東保健所
申し込み　電話で会場へ